

JEA関東News Letter 17号

2014年度第14回学術大会・総会開催報告



第14回学術大会・総会開催されました

日時：2014年2月11日（火）

場所：(株)ヨシダ全館 東京都上野

大会長、実行委員長：石井隆資（日本歯科大学）

実行委員：日本歯科大学歯内療法チーム

テーマ：外傷

講師：宮新美智世先生（東京医科歯科大学）

小林賢一先生（東京医科歯科大学）

都築民幸先生（日本歯科大学）

協賛企業：(株)ヨシダ

午前中は講演、午後はテーブルクリニックを行いました。参加者は143名（有料参加者104名）鈴木賢作賞に金丸順策先生が、また支部会長賞に小嶋壽先生が受賞されました。

第14回学術大会・総会を終えて

石井 隆資 大会長

平成26年2月11日、建国記念の日にJEA関東甲信越静支部、第14回学術大会・総会が、上野の(株)ヨシダで開催されました。数日前に降った雪が未だ溶けず、当日も時折雪の舞うような寒い日でしたが、会場内は143名の聴衆の熱気であふれていました。

今回のテーマは「外傷」でした。午前中の講演では、小児歯科学の立場から東京医科歯科大学大学院の宮新美智世先生、補綴学の立場からは東京医科歯科大学大学院の小林賢一先生、歯科法医学の立場からは日本歯科大学生命歯学部都築民幸先生に、各分野のエキスパートの先生ならではのご講演いただきました。その後の総合討議では座

長の辻本恭久先生の進行の下、活発な意見の交換がなされました。

午後は恒例のテーブルクリニック大会でした。6会場、12名の講師で行われましたが、各会場とも黒山の人だかりで、急遽椅子を追加するような状態でした。参加者の投票で決定するアワードは、鈴木賢作賞を金丸順策先生が、支部会長賞を小嶋壽先生が受賞され、師弟コンビで賞を独占されました。閉会式を兼ねたワインパーティーでは、シェリー酒を注ぐ実演もあり、大いに盛り上がりました。

最後に、参加者の皆様、会場や人的にご協力いただいた(株)ヨシダの皆様、支部会役員の皆様、実行委員の日本歯科大学附属病院歯内療法チームの皆様に感謝いたします。

高橋 宏征

群馬県開業

平成26年2月11日、(株)ヨシダ(東京都上野)にて歯内療法学会 関東甲信越静支部会 第14回 学術大会・総会が行われた。

前の週末に関東地方に雪が降ったこともあり、交通機関の乱れを心配していたが特別問題もなく、予定通りに上野駅着。程なく会場へ。

4月3日に行われるJEA研修会(群馬)のチラシを受付に置かせてもらい、受付。少し経つと結構な数の参加者で活況な学術大会であろうことを伺わせた。

今回のスケジュールは午前中に講演、午後にテーブルクリニックというスケジュール。午前中の講義に参加した。

最初の講義は東京医科歯科大学の宮新美千世先生による「小児の外傷と歯内療法」というタイトルで行われた。外傷の分類とそれに対する対応について系統だってわかりやすい講義で私自身の頭の中も幾分スッキリと整理されたような気になった。次は東京医科歯科大学の小林賢一先生による「歯根破折の原因と予防-補綴の立場から-」というタイトルで行われた。biologic widthとフェルールの大切さを再確認し、抜歯の基準を提案されていたが、100%同意できる提案であった。最後には日本歯科大学の都築民幸先生による「外傷歯を歯科法医学的に診る」というタイトルで行われた。今回の講義・テーブルクリニックを通じて一番の衝撃を受けた講義で、内容は幼児虐待における口腔内損傷の所見であったが、ひとりの父親として医療現場から自治体や各関係団体・機関との連携を一刻も速く取らねばならないのではないかと講義を受けながら胸が痛み、一刻も早く自宅へ帰って子供を抱きしめてやりたくなる程であった。

実際はテーブルクリニックの発表もあるため帰るわけにはいかないが午前の講義後、理事会

が行われ今回より私も理事に選任して頂き初めての理事会に参加した。

午後、テーブルクリニックが始まり私は「外傷性損傷の症例報告」というタイトルでテーブルクリニックの発表をさせて頂いた。若輩者の拙い発表ではあったが、聴講されている先生方にも助けられ無事に終えることができた。

幼児虐待の実態を垣間見た訳だが、一週間経っても胸が痛み正直スライドの一枚一枚を思い出したくもないが、幼児虐待の予防と対応が充分にできる社会の実現を切に願う。

埜 真樹子

東京勤務医

今回、関東甲信越静支部会に参加させていただいて2回目でした。今大会のテーマは「外傷」でした。

午前中の宮新美智世先生の「小児の外傷と歯内療法」の講義は、外傷の分類や、外傷が生じたときの対処方法が、とても明確にガイドライン化されており、とても勉強になりました。外傷を受けた患者さんは、突然来院してくるもので、いつ来院してきても、正確な対処ができるような知識や、それだけでなく、器具を準備する必要があると痛感しました。また、受傷後、術者や患者、その親がどのような対処をするかどうかで、予後が大きく左右されることを認識する必要があると思いました。小林賢一先生の「歯根破折の原因と予防～補綴の立場から～」では、支台築造の大切な基本事項を見直すことができました。また、小林先生の補綴症例は、どれもすばらしい長期症例で、咬合の安定と、ペリオコントロールが確立されてなせる業だと思いました。都築民幸先生の「外傷歯を歯科法医学的に診る」では、私たち歯科医師が児童虐待のサインを見逃さないためにはどうするべきか。暴力による虐待と育児放棄(ネグレクト)

のサインを口腔内だけでなく、子供の態度や体のあざなど、アンテナをはり、通報する勇気をもつことを学びました。

午後は、テーブルクリニックでしたが、今回、わたしは初めてテーブルクリニックをさせていただきました。Ni-Tiロータリーファイルの検証を発表させていただきました。20分間、とにかく緊張で、声がうわずってしまいました。次回も、またテーブルクリニックにチャレンジしたいと思います。

とても有意義で、多くの事を学べた1日でした。また、参加したいとおもいます。

大内 一登 日本歯科大学附属病院勤務

東京では珍しく、雪の降り積もった2月11日(火)にJEA関東甲信静支部支部大会がヨシダ上野本社にて開催されました。

私はJEAへの参加が初めてであったため、どのような講演を聴くことができるのか非常に楽しみにしておりました。午前中は今大会のテーマである「外傷」について宮新美智世先生、小林賢一先生、都築民幸先生の御三方のご講演がありました。

宮新先生のご講演では、小児の外傷について、その鑑別から保存方法、予後についての内容であり、とても為になると同時に明日からの臨床へすぐに生かせるお話でありました。また都築先生も小児の外傷がメインとなるお話でしたが、宮新先生とは違う、法医学の観点からのご講演でした。虐待やネグレクトの早期発見に関して、歯科で出来る範囲はとて広いこと、また歯だけを見るのではなく身体全体を見ることの重要さを学ぶことが出来ました。小林先生のご講演では、歯根破折を予防するためのコア形成、支台築造法など、その後の補綴を踏まえた内容であり、歯内療法学と補綴学を繋ぐ大変興味深い内容であったと感じました。

そして午後のテーブルクリニックでは、私は、戸田賀世先生、小林千尋先生による「マイクロエキスカを用いた歯内療法」、鈴木誠先生による「日本人における上・下顎第二大臼歯の歯根・根管形態について」の二つのご講演を拝聴いたしました。戸田先生、小林先生のご講演では、マイクロエキスカとマイクロスコープを用いた歯内治療症例に関してのお話でしたが、根管外に飛び出したガッタパーチャやファイルに関して、自分の持っていた知識が覆され、歯内治療の更なる発展に大変感銘を受ける内容でした。鈴木先生のお話では、欧米人の歯牙と違う日本人の歯牙の特徴を知ることが出来、槌状根の意外な多さに驚くご講演でした。

大会後のビアパーティではシェリー酒を始めとした様々なお酒が振舞われ、ご参加された諸先生方の議論とご歓談にも熱が入り、とても活気に溢れたパーティであったと思います。交友の場、情報交換の場としても非常に有意義な大会であるのだと感じました。

まだ技術も知識も乏しい私ですが、今回の大会で学んだことを日々の臨床に生かし、精進を重ねていきたいと思っております。今大会でご講演いただいた先生方、貴重なご講演を誠に有り難うございました。

アンケートより抜粋

Q 今回の研修会・学術大会に参加されていたかでしたか？

- ・いろいろな大学の先生、開業されている先生の話が、非常に面白かった。
- ・興味あるテクニックが確認できた。
- ・外傷の話はあまり聞いた事が無かったので、とても勉強になりました。
- ・外傷を違った面から話されて良かった。
- ・法医学的な見方が勉強になった。
- ・歯科医師の診断の社会的な影響、歪みを痛感した。

- ・テーブルクリニックの充実度。
- ・学校検診などで、小児の口腔内を一度に沢山診る機会が多く、都筑先生のお話は普段学会などで耳にする事が少ない内容で、大変良かったと思います。
- ・実行委員の先生方の対応。
- ・講演、テーブルクリニックとも明日から使える内容ばかりで、とても有意義であった。ただ、午前中の講演の間に、トイレ休憩程度の小休憩が欲しかった。
- ・時間がオーバーして、次のセミナーが十分に聞けなかった。
- ・明日からの治療ですぐ使える内容ばかりでした。ただ、時間が短く、もう少し聞いていたかったです。

Q 今回の講演・テーブルクリニックの内容は、今後の診療に役に立ちますか？

- ・咬合、破折について勉強になりました。
- ・臨床に直結する内容だった。
- ・知識の幅が広がった。
- ・大学で治療できないケースを見ると勉強になる。
- ・支台築造、クラックのお話が参考になりました。
- ・明日から行っていこうと思います。

Q 今後、どのような講演をご希望ですか？

- ・再植のお話
- ・穿孔部封鎖
- ・卒後間もないドクターに対する基本的な歯内療法について。
- ・臨床に即したものを、体験できるようなものがあると良いです。
- ・数多くのテーブルクリニックを聴けるようにして頂きたい。
- ・基礎から応用まで幅広くお願いします。

第18回サマーセミナーについて

日時：2014年8月28日（木） 17:55~20:00

場所：東京歯科大学（水道橋）

大会長：古澤 成博教授（東京歯科大学）

実行委員：末原 正崇

テーマ：根管拡大・形成法

講師及び講演内容：

- ・清水 藤太先生（ロサンゼルス開業）
「エンド新時代における、根管形成理念の新フォーマットの提唱」
- ・澤田 則宏先生（東京都開業）
「根管形成の本質とは？」

定員：200名

参加費：事前5,000円,非会員及び当日7,000円

第16回ハンズオンセミナー（旧ベーシックセミナー）について

日時：2014年8月28日(木) 13:00~16:00

場所：東京歯科大学（水道橋）

講師：清水 藤太先生

定員：17名

受講費用：20,000円（別途材料代5,000円程度）

プラスチック模型を用いた実習。実習最後に清水先生による天然歯の拡大・形成のデモ

詳細は日本歯内療法学会関東甲信越支部のホームページをご覧ください。

日本歯内療法学会関東甲信越支部のホームページ及びFacebookを開設いたしましたのでご覧ください。
<http://jea-kantoh.jp/index.php>

皆様からのご意見ご希望などをMailにてお待ちしております。

事務局アドレス：golden-circle@nifty.com